

## 「バイク用ヘルメットの価格が高騰」

洲澤 輝

### ＜公安部による「一盔一带」の実施＞

上海を含め中国各都市では、今年5月初旬から、急激にバイク用ヘルメットの価格が上昇し始めました。インターネット上ではこの話題で盛り上がり、連日ニュース番組で取り上げられました。何故ヘルメットの価格が高騰しているのか調べてみると、今年4月に公安部が発した通知が関係していることが分かりました。それは「一盔一带（いっかい いったい）」という政策です。「一盔」はバイク用ヘルメットを表し、「一带」は自動車のシートベルトを表しています。

### ＜6月1日施行後ヘルメット価格が暴騰＞

「一盔一带」は、6月1日から全国各地で実施され、公安交管部門が自動二輪車と原動機付き自転車のヘルメットと自動車のシートベルトの着用の有無を厳しく取り締まります。

原動機付き自転車に乗る多くの人は、これまではヘルメットを着用していませんでしたが、公安部の「一盔一带」の施行後は、着用する人が急増しました。それに伴い、市場にも急激な変化が現れました。オンライン、オフライン共にヘルメット市場が大注目され、需要が爆発的に高まっています。あるニュースによると、以前は国内で35元（約560円、1元16円で計算）だったヘルメットが、わずか数日で85元（約1,360円）にまで値上がりしました。購入者が殺到した影響でメーカーは在庫不足に陥り、ヘルメットの発送は注文から1か月後、という事態になりました。

中国では、この新政策によるヘルメットの不足は2億個以上に上ると見積もっています。仮にヘルメット1個の平均価格を50元（約800円）として計算すると、不足分を補う市場規模は100億元（約1,600億円）以上になることを意味します。

### ＜江蘇省と浙江省の状況・違反すると罰金＞

江蘇省では7月1日から「江蘇省電動自行車管理条例」が施行されます。条例では、電動

付き自転車の運転手と後ろに乗車する人は、ヘルメットを着用しなければなりません。条例に違反した場合、「警告」又は最高50元（約800円）の「罰金」が科されます。

### ＜上海の状況・露店の登場＞

上海でも6月1日から「一盔一带」が実施されています。先日、上海の浦東地区を歩いていたところ、高架橋の下でブルーシートを広げてバイク用ヘルメットを販売している即席の露店を見かけました。ブルーシートの周りには沢山人の足音ができていました。バイクの運転手は「一盔一带」が実施されたので、必ずヘルメットを着用しなければなりません。在庫不足や価格高騰により、入手が困難になっているかもしれません。

中国はこれから夏を迎えます。夏場のヘルメットは中が蒸れるので、被り続けるのはつらい季節です。おそらく夏場でもヘルメットを気楽に被れる商品が、これから中国の市場で出回るのではないかと思います。

今回取り上げた「一盔一带」のように、中国では政府が発した政策により、中国国内の内需に大きな変化が現れます。県内企業の皆様も、中国国内での政策情報をこまめにチェックし、それに見合う商品を中国市場で売り出してみたいかがでしょうか。



【上海市内の電動バイク販売店】